

交運労協 FAX ニュース NO. 19

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル 3階

発行日 2016年5月17日

TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570

発行人 高松 伸幸

交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【2016年政策・制度要求】

国土交通省海事局・港湾局と

政策・制度要求について交渉を行う！

5月13日13時30分より、国土交通省8階国際会議室において、国土交通省海事局・港湾局より「2016年政策・制度要求」の回答を受け、交渉を行った。

交運労協からは、6名が出席するとともに、政策推進議員懇談会会長である近藤昭一衆議院議員、高木義明衆議院議員石塚秘書にも同席いただいた。



【交運労協を代表して挨拶を行う高松事務局長】

冒頭、交運労協からは高松事務局長が挨拶し「日頃からのご指導にお礼を申し上げます。交通産業は基幹的インフラを担っている産業であるが多くの課題を抱えている、陸・海・空それぞれのモードで

人手不足が顕著であり、産業自体の役割が果せないおそれがあり、それが起因して安全を脅かすことになっている。政策の推進を通じ、労働環境改善につとめ魅力ある産業とし、安全・安心な交通産業を築くためにも関係省庁としてご尽力頂きたい」と述べた。

続いて、海事局・港湾局を代表して内田傑官房審議官が挨拶し、「平素より、交運労協及び政策推進議員懇談会の皆さんには、海運・港湾行政に対してのご指導とご支援にお礼を申し上げます。海運・港湾行政の課題は経済や国民生活にかかわる重要なものである。本日は貴重な場と考えていて、今後もご意見を頂きながら行政を進めて行きたい」と述べた。

その後、以下の要求について、各担当局課から回答を受けた後、海員組合浦総合政策部長から船員確保、船員教育機関について、海員組合和田国内部長から新たな高速道路料金について問題、全港湾真島書記長より国際戦略港湾における雇用・労働条件について、コンテナヤード周辺の渋滞問題、港湾運送料金についてなど意見・要望を行った。

回答内容については後日送付することとする。

以 上

《2016年政策・制度要求》

【海事局】

1. 日本人船員の確保・育成について
2. 船員教育機関の維持・定員拡大について
3. 外航海運・船員政策について
4. 内航・旅客船における海運・船員政策について
5. デジタルディバイドの解消について
6. 船員税制確立への取り組みについて
7. 海難事故の撲滅と防止に向けた取り組みについて
8. 海賊略奪行為の撲滅と船舶・船員の安全確保について
9. 日本人船員の選挙権行使の担保措置について
10. 船員の魅力に関する広報活動の強化について
11. 「海の日」の7月20日固定化

【港湾局】

1. 港湾対策について
2. 港湾運送料金について
3. 非指定港の指定港化について
4. 港湾労働対策について
5. 安全な港湾職場の環境づくり並びに海コン安全輸送対策の取組みについて
6. アスベスト対策について
7. クルーズ活性化に向けた港湾整備と交通体系、観光受入体制の整備について
8. 保安検査の迅速化と接遇向上について
9. 船内廃棄物の受け入れ施設の充実について
10. 港湾地区について

以 上

